

# まきみずほ

ヒノヒカリより早く刈れる  
早生のサイレージ専用品種

## ◆日本晴に近い出穂期の早生品種

水田で自給できる飼料作物として稲のもみとワラを同時に刈り取って利用するホールクロップサイレージ(稲発酵粗飼料)の作付けが増えています。

「まきみずほ」は、ホールクロップサイレージ専用の水稲品種です。出穂期は暖地の普通期栽培では日本晴・ホシアオバに近い早生品種です。2009年に品種登録を出願しました(旧系統名:西海飼261号)。



ホシアオバ                      まきみずほ  
黄熟期の草姿

## ◆極長稈でも倒れない

多肥栽培で1mを越す長稈ですが、稈が太く強稈で、倒伏に強い特長があり、もみとワラを合わせた全重の収量性は日本晴より約30%優り、ホシアオバ並か条件によってはやや優ります。

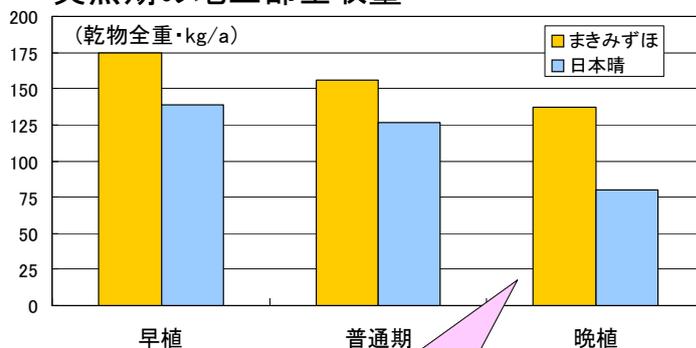
育成地における特性

品種名	出穂期 (月.日)	黄熟期 (月.日)	稈長 (cm)
早 まきみずほ	8.04	9.08	103
植 日本晴	8.07	9.07	83
普 まきみずほ	8.23	9.25	102
通 日本晴	8.20	9.18	81
晩 まきみずほ	9.23	10.28	98
植 日本晴	9.10	10.10	65

## ◆ヒノヒカリより前に収穫でき、 晩植にも向く

普通期栽培で黄熟期に達するのは9月下旬で、食用品種のヒノヒカリより先に収穫できる特長があります。また、7月下旬の晩植でも黄熟期に到達し、比較的収量が確保できるという特長があります。

黄熟期の地上部全収量



「まきみずほ」は晩植でも収量が低下しにくい特長を持ちます

